



組織や人間関係はジェンダーが絡んでいる事柄が多いので、その研究をしている私は「セクハラ」を含めたジェンダーの奥深さに、今、魅了されています。

よく「存知だ」と思いますが、セクハラ(正式名称・セクシュアルハラスメント)とは、「性的嫌がらせ・性的おびやかし」のことです。時・場所・相手を問わず、相手に不愉快にさせる性的な言動のことです。

ジーアンドエス社長 萩原 扶未子

男性側からすると、善めていられる言葉「色っぽいね」「スタイルいいね」とか、世話を焼いているつもりで言葉「結婚はまた？」「嫁の貰い手がいないよ」「子どもできたよ」も、言われた本人が嫌な気持ちを受ければ「セクハラ」となり得ます。

女性側も似たような言動をしています。それなのに、なぜあまり問題にならないのか？

取る側の意識の問題、つまりジェンダーの違いが根底にあるからです。このことにより、あまり気がつかなくて、互いに歩み寄りができない「セクハラ論争」がおこっています。もちろん、「仕事をおけるから」と触るなどというものは論外ですが……

男性は自分の種族保存のために幅広く相手を求めます。だから、男性は異性への守備範囲が広くなり得ます。女性は一人の相手の子どもしか産めませんので、微笑まれたとします。男性は「俺に気があるのかな」と、悪い気はしません。女性には「気持ち悪い人」と拒絶反応を持つという差です。同じように、職場でA子さんの肩をポンと触って「今日もきれいだね」と言ったら、A子さんにうれし好意の対象から外れたからです。この点も男性は理解できず悩むところです。

他にも職場に女性のヌード写真が貼ってあると、女性自身が裸にされているような嫌悪感を持ちます。逆に昨今流行の男性のヌードが張ってあったら男性は不快感を持ちませんが、その女性を「変な人」と取り扱います。

このように互いにジェンダーを理解していない言動が、相手を不快にさせ、「セクハラ」と捉えられて不幸な結果になってしまいます。男性だけがではなく、社会進出が活発な女性も用心を……。

男のセクハラ・女のセクハラ

男性側からすると、善めていられる言葉「色っぽいね」「スタイルいいね」とか、世話を焼いているつもりで言葉「結婚はまた？」「嫁の貰い手がいないよ」「子どもできたよ」も、言われた本人が嫌な気持ちを受ければ「セクハラ」となり得ます。

女性側も似たような言動をしています。それなのに、なぜあまり問題にならないのか？

取る側の意識の問題、つまりジェンダーの違いが根底にあるからです。このことにより、あまり気がつかなくて、互いに歩み寄りができない「セクハラ論争」がおこっています。もちろん、「仕事をおけるから」と触るなどというものは論外ですが……

男性は自分の種族保存のために幅広く相手を求めます。だから、男性は異性への守備範囲が広くなり得ます。女性は一人の相手の子どもしか産めませんので、微笑まれたとします。男性は「俺に気があるのかな」と、悪い気はしません。女性には「気持ち悪い人」と拒絶反応を持つという差です。同じように、職場でA子さんの肩をポンと触って「今日もきれいだね」と言ったら、A子さんにうれし好意の対象から外れたからです。この点も男性は理解できず悩むところです。

他にも職場に女性のヌード写真が貼ってあると、女性自身が裸にされているような嫌悪感を持ちます。逆に昨今流行の男性のヌードが張ってあったら男性は不快感を持ちませんが、その女性を「変な人」と取り扱います。

このように互いにジェンダーを理解していない言動が、相手を不快にさせ、「セクハラ」と捉えられて不幸な結果になってしまいます。男性だけがではなく、社会進出が活発な女性も用心を……。